



2016まちむらリレーション市民交流会議

イベント・シンポジウム等実績報告書 | 配分事業費：200千円

大学・大学生・地域おこし協力隊による浜松市の中山間地域再生の可能性と課題についてのシンポジウム

目的・趣旨 本学の学生（船戸ゼミ、地域連携実践演習「引佐耕作隊」や企画立案総合演習の履修学生、中山間地域づくりボランティアサークル「LA-VoC」の学生）や浜松市が2013年度から導入した浜松版の地域おこし協力隊である「浜松山里いきいき応援隊」による中山間地域における活動を紹介したうえで、本学学生や「よそ者」である若者が浜松市の中山間地域の再生のために果たす可能性について議論する。

日時・場所 平成28年11月4日から平成28年12月19日
静岡文化芸術大学 講堂

体制 (実施代表者) 文化政策学部 文化政策学部 准教授 船戸修一

共催・後援等 (共催) 浜松市

内容

12月14日（水）13時から18時、本学と浜松市役所（市民部 市民協働・地域政策課）との共催で、本学講堂において、浜松・中山間地域づくりシンポジウム「まちなかりレーション市民交流会議」を開催し、本学学生や「よそ者」である若者が浜松の中山間地域に関わってきた活動報告を一般市民の前で行い、大学・大学生・若者による中山間地域の再生の可能性を示した。このようなシンポジウムを通じて、本学の地域貢献の姿勢を一般市民にアピールした。さらに、浜松の棚田のコメ、天竜材をPRするためのトイレトペーパー「お木づかいペーパー」の商品化など、浜松の中山間地域の資源を活かす可能性を提示した。



チラシ表



お木づかいプロジェクト新聞



船戸ゼミの活動紹介パネル



学生デザインのお木づかいペーパー



学生がデザインした農産物直売所

結果・成果

船戸ゼミ、地域連携実践演習「引佐耕作隊」や企画立案総合演習の履修学生、中山間地域づくりボランティアサークル「LA-VoC」の学生、「浜松山里いきいき応援隊」の隊員、ならびに浜松の中山間地域づくりを担当している浜松市 市民協働・地域政策課とともにシンポジウムの打ち合わせを定期的に行った。そのうえで、浜松の中山間地域づくりに携わる関係者が一同に集い、今後の地域づくりの可能性や課題を議論できる場を実現した。シンポジウムには約200名の参加があり、浜松の中山間地域づくりへの関心が高いことが分かった。来年もこのようなシンポジウムを企画し、本学が地域貢献を図る地元の公立大学としての役割を積極的にアピールしたい。



発表する船戸ゼミの学生



質疑応答の様子